



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月10日

上場会社名 株式会社プレイド 上場取引所 東
 コード番号 4165 URL <https://plaid.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 倉橋 健太
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 武藤 健太郎 TEL 050 5434 8563
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	3,934	36.1	221	—	13	—	△59	—
2020年9月期第3四半期	2,892	—	△994	—	△1,114	—	△1,116	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	△1.60	—
2020年9月期第3四半期	△31.69	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	6,359	4,908	77.2
2020年9月期	3,068	1,604	52.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 4,906百万円 2020年9月期 1,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,437	35.7	151	—	△59	—	△132	—	△3.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	37,886,900株	2020年9月期	35,408,900株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	25株	2020年9月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	37,064,846株	2020年9月期3Q	35,217,027株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社のSaaS事業が属するデジタル・マーケティング・サービス市場におきましては、引き続き成長を続けております。その一方で、マーケティングの業界においては、各企業で様々なマーケティングツールを導入することにより、結果として「顧客体験の分断」を生み出し、消費者として「どういった体験がうれしいか」という顧客目線に立って体験を考えることが困難になるという課題に直面していると捉えております。この課題は、顧客の存在をデータや数字の塊としてしか認識できない企業環境によって加速しているのが現状であります。

当社の提供する「KARTE」においては、定量面・定性面を含めて多面的に「一人ひとりの顧客がわかる」機能、分析や施策アクション機能の強化を継続的に実施しており、デジタル・マーケティング・サービス領域だけでなく、カスタマーサポート領域、営業領域など、あらゆる部署を顧客目線へと導くことのできるプロダクトとして様々な部署で活用いただいております、当社サービスの利用企業の業界も広がっております。

当第3四半期累計期間においては、継続的な新規顧客獲得のための施策に加え、特に既存顧客に対するサポートの強化やオプション商品の販売促進を図りました。

この結果、当第3四半期会計期間の末日におけるARR（注1）は前年同期末比32.6%増の5,426,679千円、契約件数（注2）は同14.6%増の777件、契約単価（注3）は同15.7%増の582千円、顧客社数は同14.1%増の517社、顧客単価（注4）は同16.2%増の874千円、サブスクリプション売上高比率（注5）前年同期比0.8ポイント増の95.5%となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は前年同期比36.1%増の3,934,920千円、営業利益は221,465千円（前年同期は営業損失994,454千円）となりました。また、東京証券取引所マザーズへの上場のための一時的な費用として上場関連費用を計上したことにより、経常利益は13,847千円（前年同期は経常損失1,114,369千円）となりました。また、主に特別損失として投資有価証券評価損を計上したことにより、四半期純損失は59,287千円（前年同期は四半期純損失1,166,088千円）となりました。

なお、当社はSaaS事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注) 1. ARR : Annual Recurring Revenueの略称。各期末の月次サブスクリプション売上高を12倍して算出。既存の契約が更新のタイミングで全て更新される前提で、既存の契約のみから、期末月の翌月からの12ヶ月で得られると想定される売上高を表す指標です。
2. 当四半期会計期間の末日における導入ウェブサイト及びスマートフォンアプリ数の合計を指します。
3. 各期末時点の月次サブスクリプション売上高を同時点の契約件数で除して算出しております。
4. 各期末時点の月次サブスクリプション売上高を同時点の顧客社数で除して算出しております。
5. 売上高のうち、経常的に得られるKARTEの月額利用料の合計額が占める割合を指します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は6,002,930千円となり、前事業年度末に比べ3,360,568千円増加いたしました。これは主に東京証券取引所マザーズへの上場に伴う新株発行等により現金及び預金が3,259,590千円増加したことによるものであります。固定資産は356,328千円となり、前事業年度末に比べ70,303千円減少いたしました。これは主に投資有価証券評価損を計上したことにより、投資その他の資産が70,283千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は6,359,258千円となり、前事業年度末に比べ3,290,265千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,287,572千円となり、前事業年度末に比べ202,713千円増加いたしました。これは主にその他の流動負債に含まれる前受収益の増加及び未払消費税等の増加によるものであります。固定負債は163,300千円となり、前事業年度末に比べ216,740千円減少いたしました。これは長期借入金の減少によるものであります。

この結果、負債合計は1,450,872千円となり、前事業年度末に比べ14,026千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,908,386千円となり、前事業年度末に比べ3,304,291千円増加いたしました。これは主に東京証券取引所マザーズへの上場に伴う新株発行等により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,681,132千円増加した一方で、四半期純損失59,287千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.2%（前事業年度末は52.3%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,091,698	5,351,288
受取手形及び売掛金	475,149	562,842
その他	77,015	89,600
貸倒引当金	△1,501	△800
流動資産合計	2,642,361	6,002,930
固定資産		
有形固定資産	36,761	36,741
投資その他の資産	389,870	319,587
固定資産合計	426,631	356,328
資産合計	3,068,993	6,359,258
負債の部		
流動負債		
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	317,720	294,500
未払金	424,028	387,630
受注損失引当金	2,634	1,337
その他	140,476	404,103
流動負債合計	1,084,858	1,287,572
固定負債		
長期借入金	380,040	163,300
固定負債合計	380,040	163,300
負債合計	1,464,898	1,450,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,321	2,642,454
資本剰余金	2,921,324	4,602,456
利益剰余金	△2,278,551	△2,337,839
自己株式	—	△114
株主資本合計	1,604,094	4,906,956
新株予約権	—	1,429
純資産合計	1,604,094	4,908,386
負債純資産合計	3,068,993	6,359,258

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,892,021	3,934,920
売上原価	840,657	1,050,899
売上総利益	2,051,363	2,884,020
販売費及び一般管理費	3,045,818	2,662,555
営業利益又は営業損失(△)	△994,454	221,465
営業外収益		
受取利息	9	14
助成金収入	237	3,998
固定資産売却益	—	582
その他	1,055	1,232
営業外収益合計	1,302	5,827
営業外費用		
支払利息	6,848	10,729
上場関連費用	105,793	200,417
その他	8,576	2,297
営業外費用合計	121,218	213,444
経常利益又は経常損失(△)	△1,114,369	13,847
特別損失		
投資有価証券評価損	—	70,283
特別損失合計	—	70,283
税引前四半期純損失(△)	△1,114,369	△56,435
法人税、住民税及び事業税	1,718	2,852
法人税等合計	1,718	2,852
四半期純損失(△)	△1,116,088	△59,287

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社普通株式の東京証券取引所マザーズへの上場に伴う新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,126,280千円増加しました。

また、2020年11月12日及び2020年11月30日開催の取締役会において決議したオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関する第三者割当による新株式の発行については、2021年1月14日に払込を受けており、資本金及び資本準備金がそれぞれ529,840千円増加しました。

さらに、当第3四半期累計期間において新株予約権の行使が行われ、資本金及び資本準備金がそれぞれ25,012千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が2,642,454千円、資本剰余金が4,602,456千円となっております。